

TRAP CAR SECURITY SYSTEM

製造・販売元
フジ電機工業株式会社
<http://www.fuji-denki.co.jp/>

本社 〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号
 TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880
 春日工場 〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530
 (ISO9001取得) TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187

Theft [盗難]

Repulse [撃退]

Alarm [警報]

Protection [防衛]

TRAP

CAR SECURITY SYSTEM

はじめに	■ 必ずお読み下さい	1
	■ 使用上のご注意	2
	■ 商品付属構成	3
	■ センサー概要	4
基本操作	■ セキュリティをセットする 1	5
	■ セキュリティをセットする 2	6
	■ 車両異常警戒中 1	7
	■ 車両異常警戒中 2	8
	■ セキュリティをアンセットする 1	9
	■ セキュリティをアンセットする 2	10
	■ 警報履歴	11
	■ ミュート機能	12
応用操作	■ エンジンスターター取り付け車について1	13
	■ エンジンスターター取り付け車について2	14
	■ ディップスイッチ設定詳細 (セット・アンセット音のON・OFF等) ...	15
	■ 振動センサー感度調整方法	16
	■ 強制解除方法	17
	■ 別売オプション紹介	18
	■ トラブルシューティング 1	19
	■ トラブルシューティング 2	20
その他	■ トラブルシューティング 3	21
	■ トラブルシューティング 4	22
	■ アフターサービス	23
	■ 仕様	24

TP-200 取扱説明書

この度は、ブルコンTRAPシリーズをご購入して頂き、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分に活用して頂く為に取扱説明書をお読みになり、ご理解頂いた上で、正しくお使い下さい。この取扱説明書は必ず大切に保管して下さい。

－ 必ずお読み下さい －

この取扱説明書には、本製品を安全にご使用頂き、お客様や取り付け時の危害や損害を未然に防止するために、色々な注意事項を表示しております。又、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。その表示内容は下記の様になっております。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品について

本製品は高性能な自動車盗難発生警報装置であって盗難防止器ではありません。万一、盗難事故やいたずら等による損害等が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。又、本製品及び本製品の別売オプションの仕様・デザイン等は予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

本製品は道路運送車両法の新保安基準(2006年7月1日施行)に適合する製品ですので2006年7月1日以降(軽車両は2008年7月1日以降)の初年度登録車両にも対応しております。

JAAMA登録証明書について

同梱されているJAAMA登録証明書には**必ず取り付け作業日、取り付け販売店及び取り付け責任者の記入又は捺印が必要となります**。無い場合、車検等に通らない場合がありますのでご注意下さい。

保証書について

同梱されているアンケートハガキの保証書には**必ず購入日及び取り付け販売店の記入又は捺印が必要となります**。無い場合、有償保証になりますのでご注意下さい。

－ 使用上のご注意 －

⚠ 警告

以下の警告文を無視し、使用を続けると火災・感電・故障・事故の原因となります。

- ▼ 各種ユニットを分解したり、改造したりしないで下さい。
- ▼ 運転中に各種ユニットの取り付け及び取り外しを行わないで下さい。
- ▼ 各種ユニットに水が入らない様にして下さい。万一、水が入った場合は直ちに使用を中止し保証書と一緒に弊社までお送り下さい。
- ▼ 各種ユニットから煙又は異臭・異音がする場合、直ちに使用を中止し保証書と一緒に買い上げの販売店又は、弊社までお送り下さい。
- ▼ 各種ユニットの配線、取り付け及び使用を誤ると車両の装置、機器類を破損又は、損傷する恐れがありますのでご注意下さい。
- ▼ 本製品には指定された別売オプション以外取り付けをしないで下さい。他製品の別売オプションを取り付けられ本製品及び車両が故障した場合、一切の責任を負いかねます。

⚠ 注意

以下の注意文を無視し、使用を続けると誤作動・故障の原因となります。

- ▼ 車内に生物(人間・ペット等)がいる状態で本製品を使用しないで下さい。
- ▼ 本製品はロードスター型・コンバーチブル型・可動式ルーフパネルを有する車両には取り付け出来ません。
- ▼ 車両バッテリーが弱っている状態及び車両機能に異常がある場合、本製品を使用しないで下さい。車両機器及び本製品に影響を与える恐れがあります。
- ▼ 各種ユニットの誤った取り付け及び誤った使用方法による事故等に関しては、弊社では一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。
- ▼ 別売オプションを増設する際、消費電流(待機時)の合計値が30mAを超えない様にして下さい。30mAを超えた状態で使用されますと新保安基準(車検時)に適合しなくなりますのでご注意下さい。
- ▼ 各センサーは車両の大きさや車両周辺の環境によって感度が異なる場合がありますので予めご了承下さい。
- ▼ エンジン始動中(ターボタイマー及びエンジンスターター作動中)は車種によって純正キーレスエントリーリモコンが利かない又はアンサーバック(ハザード点滅)が無い場合がありますのでご注意下さい。

— 商品付属構成 —

3

開封後、取付作業前に必ず同梱部品の不足が無いチェックして下さい。

☐ メインユニット



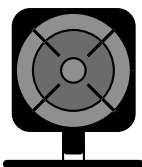
☐ 強制解除スイッチ



☐ 標準LED



☐ サイレン



☐ 振動センサー



その他同梱部品

☐ 取扱説明書 × 1

☐ 取付説明書 × 1

☐ アンケートハガキ(保護シール付) × 1

☐ JAAMA認定証明書 × 1

☐ JAAMA認定シール × 1

☐ 自動車盗難発生警報装置装着車シール 2枚1組

☐ サイレン用3PINコネクタ(メス) × 1

☐ 標準LED用2PINコネクタ(メス) × 1

☐ サイレン用固定ステー × 1

☐ ワンタッチ電源大・小

☐ メインハーネス × 1

☐ 予備線 × 1

☐ 両面テープ × 3(大・中・小各1)

☐ インシュロック × 4(大2 中2)

☐ 分岐タップ × 6

☐ ダイオード × 4

☐ サイレン固定用ピասビス × 2

— センサー概要 —

4

・ドアスイッチセンサー

ドアの不正開放を検出し、警報を行います。

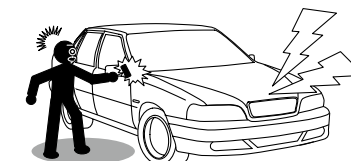
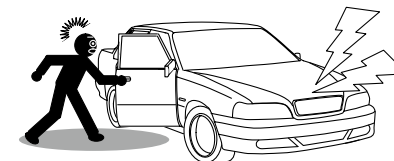
・空圧センサー (TP-200VAのみ標準)

車内の空圧変化を検出し、警報を行います。

・振動センサー

車体への衝撃を検出し、衝撃の強弱によって威嚇・警報を行います。

待機時消費電流 約1mA

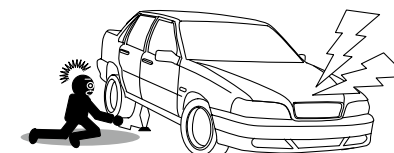


別売オプションセンサー

・傾斜センサー

車両の傾きを検出し、警報を行います。
駐車時の車両角度を記憶していますので傾斜地に駐車しても問題はありません。

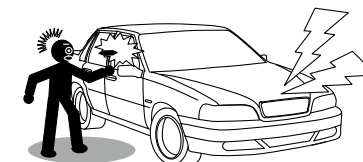
待機時消費電流 約1.7mA



・サウンドセンサー

窓ガラスへの異常を検出し、警報を行います。

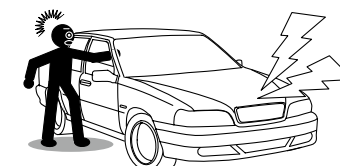
待機時消費電流 約2.9mA



・人体センサー ※2個セット

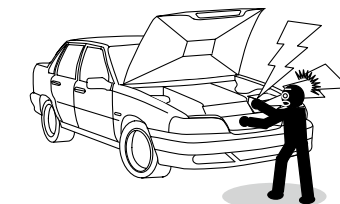
車両への不正侵入を検出し、警報を行います。

待機時消費電流 1個 約0.5mA



・ボンネットピンスイッチ

ボンネットの不正開放を検出し、警報を行います。



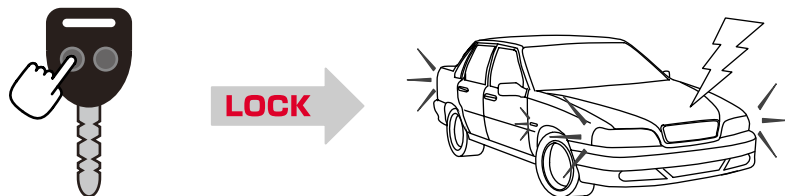
⚠ 注意

・各センサー及びユニットを取り付けられる場合、本製品の待機時消費電流合計値が30mAを超えない様にして下さい。30mAを超えた状態で使用されますと新保安基準(車検時)に適合しなくなりますのでご注意下さい。

－ セキュリティをセットする 1 －

■ セキュリティをセット(警戒状態)する

全てのセンサーで車両警戒を行います。
エンジンを停止して降車した後、全てのドア及び窓等が閉まっている事を確認してから下記の操作を行って下さい。(ロック時にハザードが点滅する車種、点滅しない車種共通)



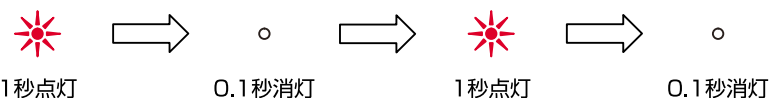
純正キーレスエントリーリモコンの
ロックボタンを押す

※上記図はロック時にハザードが点滅する車種の場合の説明です。

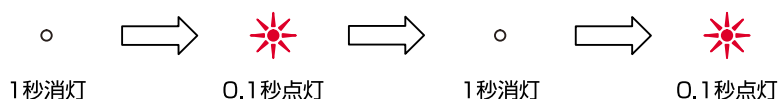
ドアロックとほぼ同時にサイレンが1回吹鳴し、
標準LEDが点滅開始(注意参照)

標準LEDの動作内容

キャンセルタイム時(30秒間又は15秒間点滅)



スタンバイ時(点滅)



上記動作が確認出来ましたらセキュリティセット完了です。

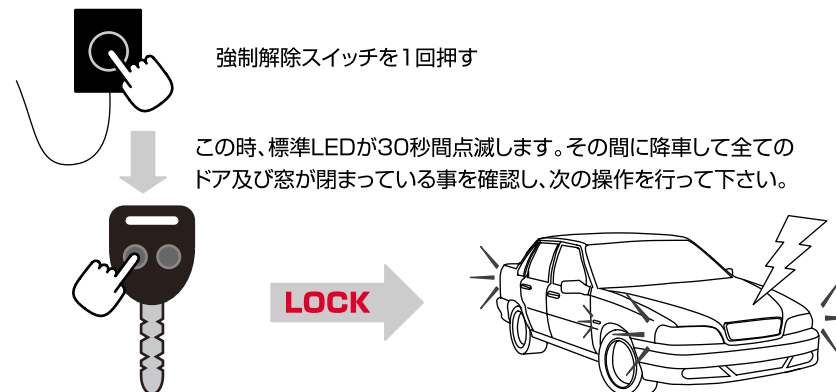
⚠ 注意

- ・ロック時とセキュリティセットのタイミングは車種により誤差がありますので予めご了承下さい。
- ・純正キーレスエントリーリモコンでロック・アンロックを行った時にハザードが点滅しない車種の場合は別途ロック・アンロック入力配線が必要になります。
- ・ハザードが1秒以内で連続点滅をした場合、セキュリティはセットされませんのでご注意下さい。モーターラインから入力配線されている場合は問題ありません。
- ・ハザード点滅がロック・アンロックに連動しない車種でロック・アンロックの入力配線を行う場合や連動する車種でも併用してロック・アンロックの入力配線を行う場合は、必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意下さい。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・メインユニットのディップスイッチ1番がONに設定されている場合、セット時の確認音は鳴りません。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・エンジン作動中はセキュリティがセット出来ませんのでご注意下さい。
- ・ターボタイマー取り付け車の場合、ターボタイマー停止後にロック操作を行って下さい。

－ セキュリティをセットする 2 －

■ センサーカットモードでセキュリティをセット(警戒状態)する

センサーカットモードはドアスイッチセンサーのみで車両警戒を行います。
エンジンを停止した後、下記の操作を行って下さい。
(ロック時にハザードが点滅する車種、点滅しない車種共通)



強制解除スイッチを1回押す

この時、標準LEDが30秒間点滅します。その間に降車して全ての
ドア及び窓が閉まっている事を確認し、次の操作を行って下さい。

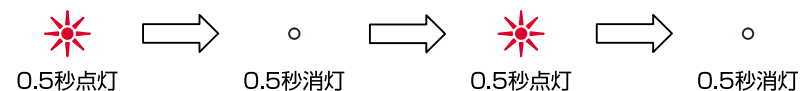
純正キーレスエントリーリモコンの
ロックボタンを押す

ドアロックとほぼ同時にサイレンが3回吹鳴し、
標準LEDが点滅開始(P5注意参照)

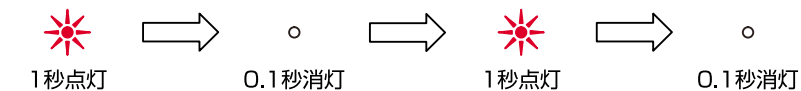
※上記図はロック時にハザードが点滅する車種の場合の説明です。

標準LEDの動作内容

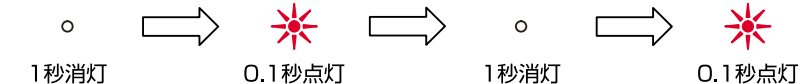
センサーカットモード受付時(30秒間点滅)



キャンセルタイム時(30秒間又は15秒間点滅)



スタンバイ時(点滅)



上記動作が確認出来ましたらセキュリティセット完了です。

⚠ 注意

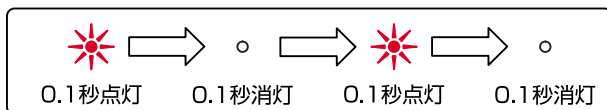
※ P5の注意も参照して下さい。

- ・強制解除スイッチを押してから何も操作せずに30秒が経過しますと標準LEDが消灯し、センサーカットモードを受け付けなくなりますのでご注意下さい。失敗した場合はもう一度最初からやり直して下さい。

— 車両異常警戒中1 —

警報中の標準LEDの動きは全て高速点滅になります。(弱衝撃の威嚇を除く)

標準LEDの動き(高速点滅)



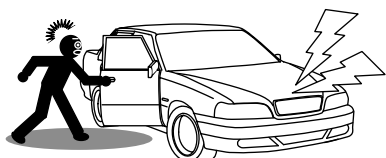
7

⚠ 注意

- ・自動車盗難発生警報装置の新保安基準により1回のセットで各センサーの警報回数は10回までとなっております。(ドアスイッチセンサー、ボンネットピンスイッチ、弱衝撃の威嚇は除く)
- ・警報中のハザード点滅は行いません。

■ ドアが開けられた時(ドアスイッチセンサー及び空圧センサー(TP-200VAのみ))

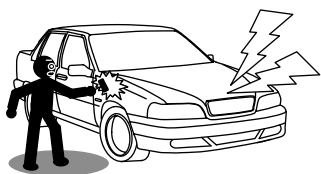
セキュリティセット中、ドアが開けられた場合、ドアスイッチセンサー及び空圧センサー(TP-200VAのみ)が検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴
標準LEDが約30秒間高速点滅

■ 車体に衝撃を与えられた時(振動センサー)

セキュリティセット中、車体に衝撃を与えられた場合、振動センサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。

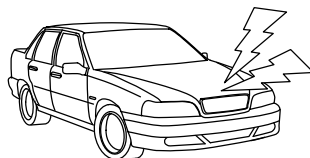
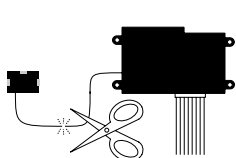


弱衝撃の場合(威嚇時)
サイレンが約1秒間吹鳴

強衝撃の場合(警報時)
サイレンが約30秒間吹鳴
標準LEDが約30秒間高速点滅

■ 信号線を切断された時

セキュリティセット中、メインユニットと各センサー(オプション含む)間を切断された場合、信号ライン切断を検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



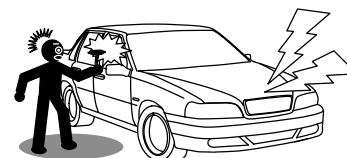
サイレンが約30秒間吹鳴
標準LEDが約30秒間高速点滅
※振動センサーが切断された場合は約1秒間

※メイン電源を切断された場合、この機能は働きません。

— 車両異常警戒中2 —

■ ガラスに衝撃を与えられた時(サウンドセンサー) ※別売オプションセンサー

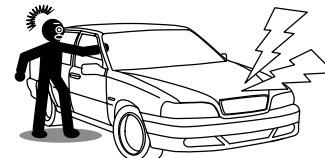
セキュリティセット中、ガラスに衝撃を与えられた場合、サウンドセンサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴
標準LEDが約30秒間高速点滅

■ 車内に侵入された時(人体センサー) ※別売オプションセンサー

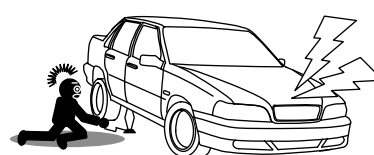
セキュリティセット中、車内に不正侵入された場合、人体センサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴
標準LEDが約30秒間高速点滅

■ ジャッキアップされた時(傾斜センサー) ※別売オプションセンサー

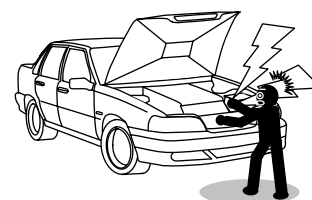
セキュリティセット中、ジャッキアップされた場合、傾斜センサーが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



サイレンが約30秒間吹鳴
標準LEDが約30秒間高速点滅

■ ボンネットを開けられた時(ボンネットピンスイッチ) ※別売オプションセンサー

セキュリティセット中、ボンネットを開けられた場合、ボンネットスイッチが検知し、車両周囲に車両異常をお知らせします。



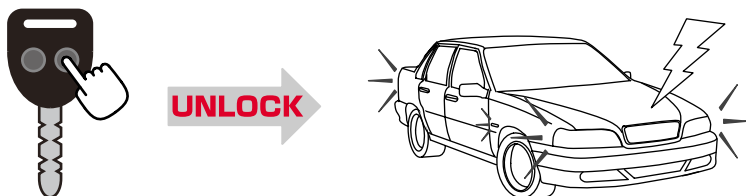
サイレンが約30秒間吹鳴
標準LEDが約30秒間高速点滅

－ セキュリティをアンセットする1 －

■ セキュリティをアンセット(解除状態)する

セキュリティの解除を行います。

アンロック時にハザードが点滅する車種の場合は下記の操作を行って下さい。



純正キーレスエントリーリモコンの
アンロックボタンを押す

ドアアンロックとほぼ同時にサイレンが2回
吹鳴し、標準LEDが消灯。その後、標準
LEDが警報履歴を表示(注意参照)
※警報履歴はP11「警報履歴」を参照

⚠ 注意

- ・アンロック時とセキュリティアンセットのタイミングは車種により誤差がありますので予めご了承下さい。その為、アンロック後すぐにドアを開けると警報が鳴ってしまう場合がありますのでご注意下さい。
- ・リロック機能(純正キーレスエントリーリモコンでアンロックした時ドアを開けなければ数十秒後に自動でロックする機能)が働く車両の場合は、セキュリティも再度セット状態になりますのでご注意下さい。
- ・純正キーレスエントリーリモコンでロック・アンロックを行った時にハザードが点滅しない車種の場合は別途ロック・アンロック入力の配線が必要になります。この場合、アンセット方法が異なりますのでP10を参照して下さい。
- ・ハザードが1秒以内の連続点滅した場合、セキュリティはアンセットされませんのでご注意下さい。モーターラインから入力配線されている場合は問題ありません。
- ・ハザード入力配線と併用してロック・アンロックの入力配線を行う場合は、必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意下さい。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・メインユニットのディップスイッチ1番がONに設定されている場合、アンセット時の確認音は鳴りません。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・エンジンスターター取り付け車の場合、アンセット方法が異なりますのでP13～P14「エンジンスターター取り付け車について」を参照して下さい。

－ セキュリティをアンセットする2 －

■ セキュリティをアンセット(解除状態)する

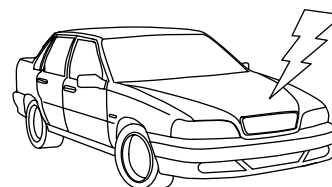
セキュリティの解除を行います。

アンロック時にハザードが点滅しない車種の場合は下記の操作を行って下さい。



純正キーレスエントリーリモコンの
アンロックボタンを押す

標準LEDの点滅パターンが変わり(キャンセルタイムと同じ点滅)、仮アンセット状態になりますのでアンロック後10秒以内にエンジンキーをONの位置まで回す



スピーカーから2回吹鳴し、標準
LEDが消灯したらアンセット完了
(注意参照)

⚠ 注意

- ・このアンセット方法はロック・アンロック入力の配線が必要になります。配線後は必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意下さい。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・リロック機能(純正キーレスエントリーリモコンでアンロックした時ドアを開けなければ数十秒後に自動でロックする機能)が働く車両の場合は、セキュリティも再度セット状態になりますのでご注意下さい。
- ・アンロック後、10秒以内にエンジンキーの操作を行わなければ再びセキュリティがスタンバイになりますのでご注意下さい。スタンバイに戻った場合はもう一度最初からやり直して下さい。(純正キーレスエントリーリモコンのロック・アンロックボタンがロータリー式(1個ボタン)の場合は2回ボタンを押して下さい。(ロック→アンロックでセキュリティ解除))
- ・セキュリティがスタンバイに戻った時にドアが開いている状態ですと警報が鳴りますのでご注意下さい。
- ・このアンセット方法ではセキュリティの一部機能により履歴表示は行いません。
- ・メインユニットのディップスイッチ1番がONに設定されている場合、アンセット時の確認音は鳴りません。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・エンジンスターター取り付け車の場合、アンセット方法が異なりますのでP13～P14「エンジンスターター取り付け車について」を参照して下さい。

— 警報履歴 —

セキュリティアンセット時、LEDの点滅回数にて警報があったセンサーを確認する事が出来ます。又、信号ラインを切断された場合は、切断されたセンサーの履歴が表示されます。（優先順位の高いセンサーのみ表示され、警報が無い場合は表示されません。）

優先順位

1. ドアスイッチ	7回	* * * * *
2. 空圧センサー(ドア開)	6回	* * * * *
3. 人体センサー	5回	* * * * *
4. 空圧センサー(ガラス破壊)	4回	* * * *
5. 傾斜センサー	3回	* * *
6. サウンドセンサー	2回	* *
7. 振動センサー(警報)	1回	*

※履歴は2秒毎に繰り返し表示されます。

エンジンキーをONの位置まで回すか、セキュリティを再セットする事で履歴は消去されます。

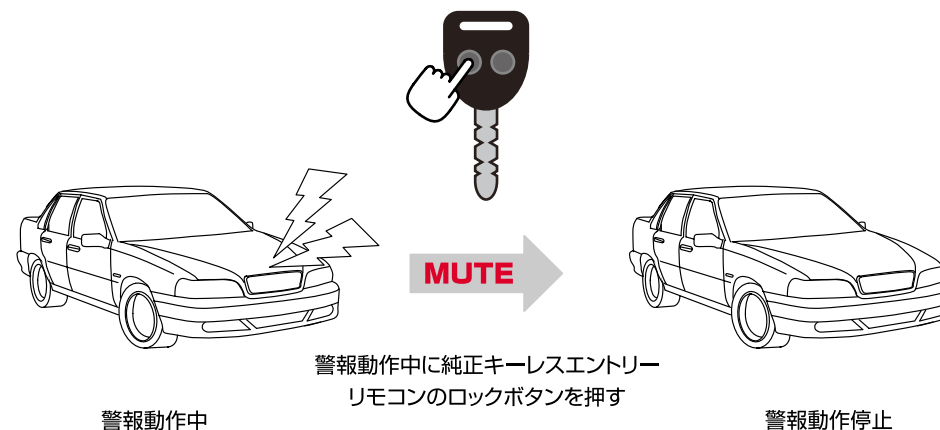
⚠ 注意

- ・ロック・アンロック時にハザードが点滅しない車種及びエンジンスターター作動中はセキュリティの一部機能により履歴表示は行いません。
- ・エンジンキーをONの位置まで回すか、セキュリティを再セットするまでは履歴表示は消灯しませんのでご注意ください。

— ミュート機能 —

このミュート機能はハザード入力線及びロック・アンロック入力線が配線されている場合且つディップスイッチ2番がONに設定されている場合のみ有効です。ハザード入力線のための配線やロック・アンロック入力線のための配線、ディップスイッチ2番がOFFの設定等ではミュート機能は働きませんのでご注意ください。

警報動作している時に純正キーレスエントリーリモコンの電波が届く範囲であれば純正キーレスエントリーリモコンのロックボタンを押すとミュート機能が働き警報動作を止める事が出来ます。警報動作を止めた後も引き続き警戒状態を維持します。

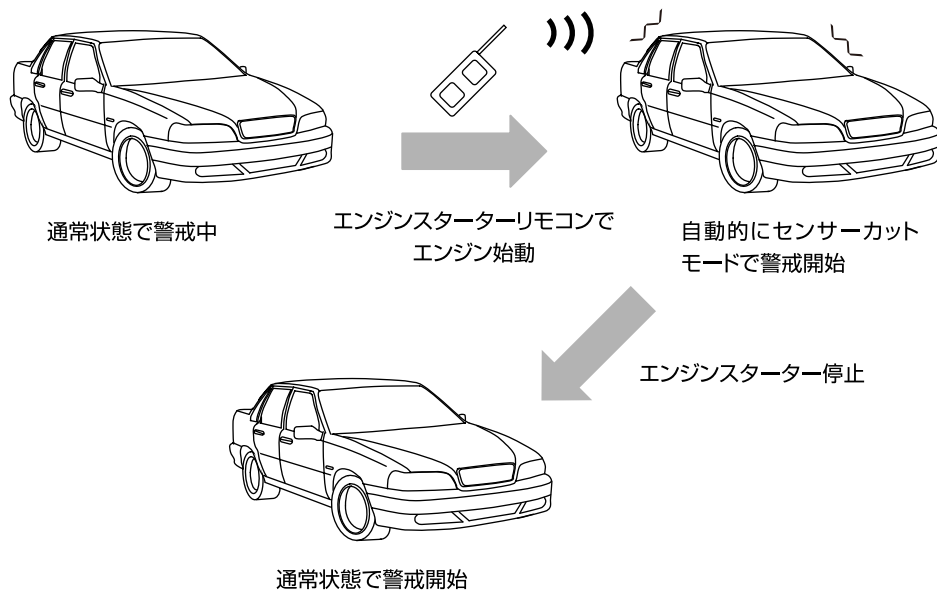


⚠ 注意

- ・ドアが開いている場合、純正キーレスエントリーリモコンは利きませんので必ずドアを閉めてからミュート操作を行ってください。
- ・警報動作中に純正キーレスエントリーリモコンのアンロックボタンを押した場合でも、警報は止まりませんがセキュリティがセット状態のままアンロックになりますのでご注意ください。引き続き警戒させる場合はロックボタンを押して下さい。又、セキュリティを解除する場合はアンロックボタンを押して下さい。
- ・純正キーレスエントリーリモコンのロック・アンロックボタンがロータリー式(1個ボタン)の場合も上記と同様に警報は止まりますがセキュリティがセット状態のままアンロックになりますのでご注意ください。引き続き警戒させる場合は再度ボタンを押して下さい。又、ミュート後にセキュリティを解除する場合は2回ボタンを押して下さい。(ミュート→ロック→アンロックでセキュリティ解除)
- ・エンジン作動中又はエンジンスターター作動中は純正キーレスエントリーリモコンが利かない場合があります。この場合は、ミュート機能が働きませんのでご注意ください。

■ エンジンスターター使用時のセキュリティ状態

エンジンスターターを使用されている場合、セキュリティが通常の警戒状態でセットされていても、エンジンスターターでエンジンを始動させると自動的にセンサーカットモードに切り替わります。エンジンスターターが停止した場合は、自動的に通常の警戒状態になります。

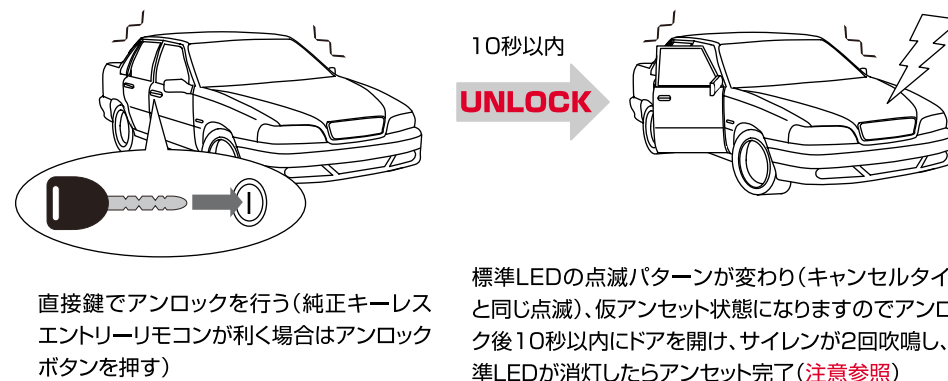


⚠ 注意

- ・ センサーカットモードでセキュリティがセットされている場合、エンジン停止後もセンサーカットモードで警戒を続けます。
- ・ エンジン作動中はセキュリティがセット出来ませんのでご注意ください。

■ エンジンスターター作動中にセキュリティをアンセット(解除状態)する

車両の特性上、エンジンスターター作動中は純正キーレスエントリーリモコンが利かない又はアンサーバック(ハザード点滅)が無い車種があり、通常のアンセット方法では解除出来ない場合があります。この場合は下記の操作を行い、セキュリティをアンセットして下さい。



直接鍵でアンロックを行う(純正キーレスエントリーリモコンが利く場合はアンロックボタンを押す)

標準LEDの点滅パターンが変わり(キャンセルタイムと同じ点滅)、仮アンセット状態になりますのでアンロック後10秒以内にドアを開け、サイレンが2回吹鳴し、標準LEDが消灯したらアンセット完了(注意参照)

⚠ 注意

- ・ このアンセット方法はロック・アンロック入力の配線が必要になります。配線後は必ずメインユニットのディップスイッチ2番をONに設定して下さい。設定を行わないと正常に動作しませんのでご注意ください。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・ アンロック後、10秒以内にドアを開けなければ再びセキュリティがスタンバイになりますのでご注意ください。スタンバイに戻った場合はもう一度最初からやり直して下さい。(エンジンスターター作動中に純正キーレスエントリーリモコンが利く場合も同様です。)
- ・ エンジンスターター作動中に警報が鳴ってしまった場合は、エンジンスターターを強制停止させてからアンロック操作又はセキュリティの強制解除操作を行って下さい。
- ・ エンジンスターター作動中、ロック・アンロック時にハザードが連動して点滅する場合は通常のアンロック操作でセキュリティがアンセットになります。
- ・ このアンセット方法ではセキュリティの一部機能により履歴表示は行いません。
- ・ エンジンスターター停止後は通常のアンロック操作でセキュリティがアンセットになります。
- ・ メインユニットのディップスイッチ1番がONに設定されている場合、アンセット時の確認音は鳴りません。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・ エンジンスターター作動中にセキュリティがアンセット出来ない場合はエンジンスターター停止後又はエンジンスターターを強制停止した後に通常のアンロック操作でセキュリティをアンセットして下さい。

－ ディップスイッチ 設定詳細 －

重 要

ディップスイッチの設定変更は、必ずセキュリティアンセット時に行って下さい。セキュリティセット時に設定変更されると正常に作動しない恐れがあります。

メインユニット側面の保護カバーを外しディップスイッチを確認します。

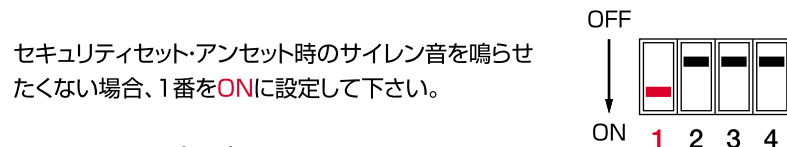
初期設定(出荷時)は全てOFFになっています。



ディップスイッチ各部設定詳細

1番 セキュリティセット・アンセット音のON・OFF設定

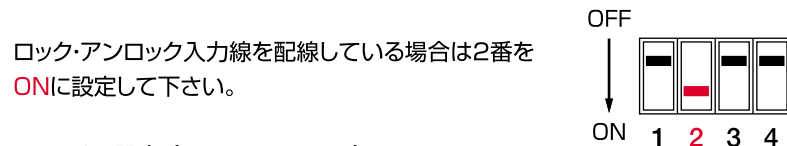
セキュリティセット・アンセット時のサイレン音を鳴らすか鳴らさないかを選択するスイッチです。



セキュリティセット・アンセット時のサイレン音を鳴らさたくない場合、1番をONに設定して下さい。

2番 ロック・アンロック入力設定

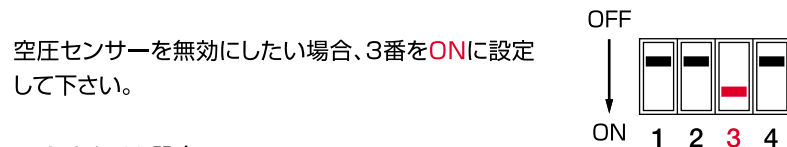
ロック・アンロック入力を認識させるか認識させないかを選択するスイッチです。



ロック・アンロック入力線を配線している場合は2番をONに設定して下さい。

3番 空圧センサー設定 (TP-200VAのみ)

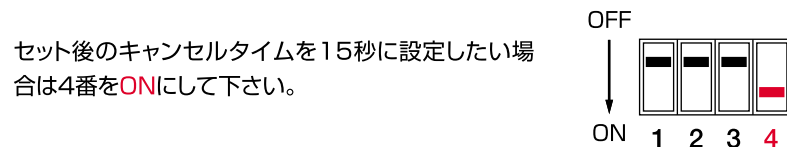
空圧センサーを有効又は無効にするかを選択するスイッチです。



空圧センサーを無効にしたい場合、3番をONに設定して下さい。

4番 キャンセルタイム設定

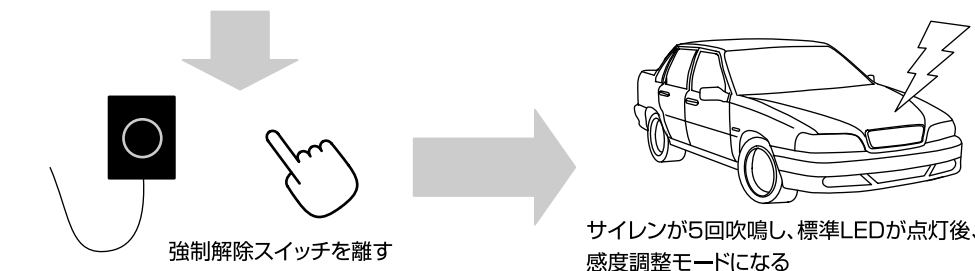
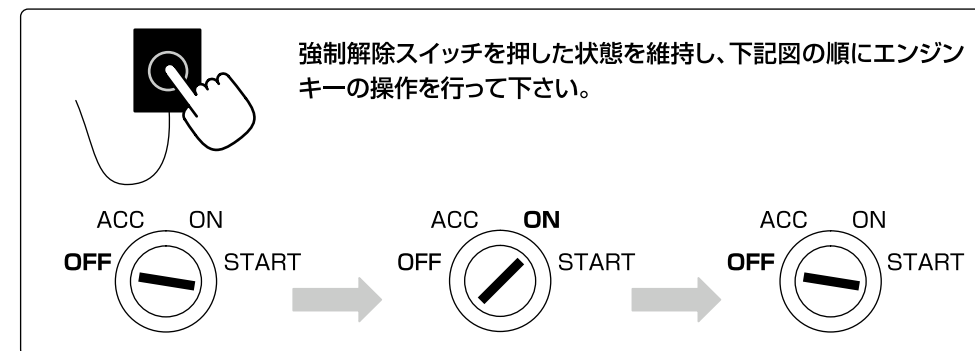
セット後のキャンセルタイムを30秒又は15秒にするかを選択するスイッチです。



セット後のキャンセルタイムを15秒に設定したい場合は4番をONに設定して下さい。

－ 振動センサー感度調整方法 －

セキュリティアンセット状態の時に強制解除スイッチを押しながらエンジンキーをキーシリンダーに差し込み、ONの位置まで回し直ぐにOFFの位置まで戻します。強制解除スイッチを離すと、サイレンが5回吹鳴し、標準LEDが点灯したら感度調整モードとなります。

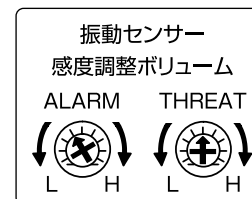


車両に衝撃を与えながらTHREAT(威嚇)とALARM(警報)の感度調整をそれぞれ行います。左(L方向)に回すと感度が下がり、右(H方向)に回すと感度が上がります。反応時には威嚇の場合、サイレンが1回吹鳴します。警報の場合、サイレンが2回吹鳴します。車両に適した感度に調整を行って下さい。

感度調整後は強制解除スイッチを1回押して下さい。サイレンが2回吹鳴し、標準LEDが消灯したら感度調整モード解除となります。

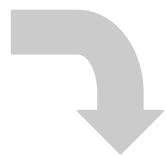
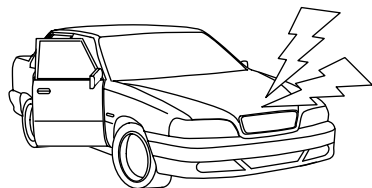
注意

- ・ 感度調整される際は必ずディップスイッチ1番をOFFに設定して下さい。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)
- ・ 感度調整又はご使用の際は必ず車両のドア及び窓を完全に閉めて下さい。
- ・ 感度調整される際は必ず車両に衝撃を与えながら調整して下さい。
- ・ 取り付け位置又は、車種により感度に若干の誤差が生じる場合がありますので予めご了承下さい。
- ・ 感度を上げ過ぎますと誤報の原因になります。
- ・ セキュリティの特性上、警報の感度は威嚇の感度よりも若干鈍くなっています。
- ・ 威嚇と警報が同時に検知した場合、警報が優先になります。
- ・ この感度調整モードは振動センサーのみ有効です。他のセンサー(別売オプション含む)には使用出来ません。



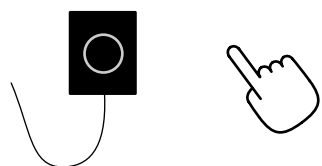
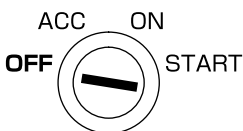
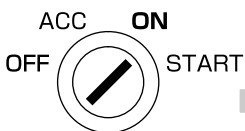
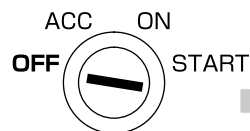
－ 強制解除方法 －

ドアを開けて警報中に強制解除スイッチを押しながらエンジンキーをキーシリンダーに差し込み、ONの位置まで回し直ぐにOFFの位置まで戻します。強制解除スイッチを離すと、サイレンが2回吹鳴し、標準LEDが消灯するとセキュリティ解除となります。

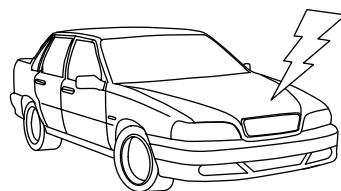


強制解除スイッチを押した状態を維持し、下記図の順にエンジンキーの操作を行って下さい。

ONの位置で一旦
警報音が止まります。



強制解除スイッチを離す



サイレンが2回吹鳴し、標準LEDが消灯後、セキュリティがアンセットになる

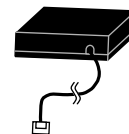
⚠ 注意

- ・手順を間違えた場合、再び警報が約30秒間吹鳴します。間違えた場合はもう一度最初からやり直して下さい。
- ・メインユニットのディップスイッチ1番がONに設定されている場合、アンセット時の確認音は鳴りません。(P15「ディップスイッチ設定詳細」参照)

－ 別売オプション紹介 －

■ 傾斜センサー (FOP-J100)

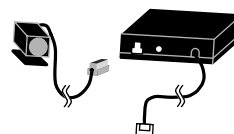
本体価格¥18,000 標準価格¥18,900 (税込) JANコード T4950094135163



当社独自のフィルター回路設計とアルゴリズム解析を組み合わせた新型の傾斜センサーです。従来品同様、傾斜を記憶していますので傾斜地に駐車しても問題無く、ジャッキアップ等の車両の傾きを検知し警報します。(反応角度は、車種によって異なる場合があります。)

■ サウンドセンサー (FOP-S100)

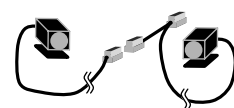
本体価格¥7,800 標準価格¥8,190 (税込) JANコード T4950094135040



窓ガラスの異常を検出し警報します。独自のフィルター回路とアルゴリズム解析の組み合わせを採用する事で、高音(工具・器具の金属音)にはしっかり反応し、低音(いたずらや手のひら等)には反応し難くなりました。更に感度調整はアナログ方式を採用する事により、細やかな感度調整が可能となりました。

■ 人体センサー (FOP-M100)

本体価格¥9,800 標準価格¥10,290 (税込) JANコード T4950094135064



車両への不正侵入を検出し警報します。TRAP採用の人体センサーは独自のフィルター回路とアルゴリズム解析の組み合わせを採用する事で、車両への不正侵入には確実に検出し警報します。更に従来の人体センサーに比べてコンパクト化に成功(当社比)しました。

■ ボンネットピンスイッチ (FOP-BP600)

本体価格¥1,800 標準価格¥1,890 (税込) JANコード T4950094135125



ボンネットの不正開放を検出し警報します。弊社のボンネットピンスイッチは材質にステンレスを採用しておりますので鋳鉄製に比べて防食・防錆に優れています。

■ クリスタルスキャナー (FOP-CR300/CB300)

本体価格¥3,800 標準価格¥3,990 (税込) JANコード T4950094135224 (FOP-CR300)
JANコード T4950094135217 (FOP-CB300)

Don't Touch!

セキュリティ作動時に文字が浮き上がり威嚇点滅します。LEDの色は赤と青の2色をご用意しました。

ー トラブルシューティング 1 ー

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
純正キーレスエントリーリモコンが利かない	純正キーレスエントリーリモコンの電波は車両に届いていますか？	純正キーレスエントリーリモコンの電波が車両に届く範囲で操作を行って下さい。	
	純正キーレスエントリーリモコンの電池が消耗していませんか？	純正キーレスエントリーリモコンの電池を新品に交換して下さい。	
	純正キーレスエントリーリモコンが故障していませんか？	純正キーレスエントリーリモコンを修理して下さい。	
	ドアが開いていませんか？	ドアを閉めて下さい。	
	エンジンが作動中ではありませんか？	エンジンを停止してから操作を行って下さい。	
ロックしてもセキュリティがセット出来ない	本体常時電源・アースポイントは確実に接続されていますか？	常時電源・ボディーアースを確認して下さい。	取付説明書
	メインハーネス常時電源のヒューズが切れていませんか？	同じアンペア数のヒューズと交換して下さい。	
	メインコネクタが抜けていませんか？	メインコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書
	取付時にメインハーネスが断線していませんか？	断線箇所を直して下さい。	
	ハザード入力線は確実に接続されていますか？	ハザード入力線を確認して下さい。	取付説明書
	ロック・アンロックに連動してハザードが点滅しない車種ではありませんか？	ロック・アンロック入力線を配線し、メインユニットディップスイッチ2番をONに設定して下さい。	取付説明書
	ロック・アンロック入力線は確実に接続されていますか？	ロック・アンロック入力線を確認して下さい。	取付説明書
	メインユニットディップスイッチ2番が正しく設定されていますか？	メインユニットディップスイッチ2番を正しく設定して下さい。	P15
	エンジンが作動中又は、ターボタイマーが作動中ではありませんか？	エンジン及びターボタイマーを停止してからロック操作を行って下さい。	P5
	感度調整モードになっていませんか？	感度調整モードを解除してからロック操作を行って下さい。	P16
ロック・アンロックしてもサイレンからセット・アンセット音が鳴らない	車両バッテリーが上がっていませんか？	車両バッテリーを充電して頂くか新品のバッテリーに交換して下さい。	
	サイレン線が断線していませんか？	断線箇所を直して下さい。	
	サイレンのコネクタが抜けていませんか？	サイレンのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書
	サイレンの端子極性が間違っていないですか？	サイレンの端子極性を確認して下さい。	取付説明書
標準LEDが光らない	メインユニットディップスイッチ1番がONに設定されていませんか？	メインユニットディップスイッチ1番をOFFに設定して下さい。	P15
	標準LED線が断線していませんか？	断線箇所を直して下さい。	
	標準LEDのコネクタが抜けていませんか？	標準LEDのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書

ー トラブルシューティング 2 ー

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
標準LEDが光らない	標準LEDの端子極性が間違っていないですか？	標準LEDの端子極性を確認して下さい。	取付説明書
センサーカットモードでセキュリティがセット出来ない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか？	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか？	断線箇所を直して下さい。	
	強制解除スイッチを押してから30秒が経過していませんか？	強制解除スイッチを押してから30秒以内にロック操作を行って下さい。	P6
	エンジンが作動中又は、ターボタイマーが作動中ではありませんか？	エンジン及びターボタイマーを停止してからセンサーカットモードへの操作を行って下さい。	P6
ドアを開けても警報しない	セキュリティがセットされていますか？	セキュリティのセット状態を確認して下さい。	
	セキュリティがキャンセルタイム中ではありませんか？	セキュリティがスタンバイである事を確認して下さい。	P5
	ドアスイッチ線が確実に接続されていますか？	ドアスイッチ線を確認して下さい。	取付説明書
	ドアスイッチ線が断線していませんか？	断線箇所を直して下さい。	
	ダイオードの方向は適切ですか？	ダイオードの方向を確認して下さい。(帯のある方が車両ドアスイッチ側)	取付説明書
	空圧センサー(TP-200VAのみ)が無効(メインユニットディップスイッチ3番がON)になっていませんか？	メインユニットディップスイッチ3番をOFFに設定して下さい。	P15
	警報音が鳴らない又は、音割れ及び音が小さい	サイレン線が断線していませんか？ サイレンのコネクタが抜けていませんか？ サイレンの端子極性が間違っていないですか？ サイレン内部に水が浸入していませんか？	断線箇所を直して下さい。 サイレンのコネクタを差し込み直して下さい。 サイレンの端子極性を確認して下さい。 セキュリティの使用を直ちに中止しサイレンを新品に交換して下さい。
スタンバイと同時に警報が鳴る又は、勝手に警報が鳴る	ドアが開いていませんか？	ドアを閉めて下さい。	
	窓が開いていませんか？	窓を閉めて下さい。	
	メインコネクタを差し込んだ後、各センサーのコネクタが抜けていませんか？	各コネクタを差し込み直し、最後にメインコネクタを差し込んで下さい。	取付説明書
	立体駐車場ではありませんか？	センサーカットモードでご使用下さい。	P6
車両に衝撃を与えても振動センサーが反応しない又は、過剰に反応する	センサーユニットと固定位置の間にスポンジ等の衝撃緩衝材がありませんか？	衝撃緩衝材の無い場所に固定又は衝撃緩衝材を剥がして下さい。	取付説明書
	車両金属部に固定されていますか？	車両金属部に固定して下さい。	取付説明書
	センサーユニットが車両中心部付近以外に固定されていませんか？	車両中心部付近に固定して下さい。	取付説明書

－ トラブルシューティング3 －

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
車両に衝撃を与えても振動センサーが反応しない又は、過剰に反応する	センサーユニットが不安定な状態ではありませんか？	設置面の汚れや油分を完全に取り除き付属の両面テープで確実に固定して下さい。	取付説明書
	センサーユニットのコネクタが抜けていませんか？	メインコネクタを抜き5秒以上経過してからセンサーユニットのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書
	エンジンが作動中ではありませんか？	エンジンを停止して下さい。	
	セキュリティがスタンバイ状態になっていますか？	スタンバイ状態になってから確認して下さい。	P5
	センサーカットモードでセキュリティがセットされていますか？	通常のロック操作でセキュリティをセットして下さい。	P5
	THREAT (威嚇) 又は、ALARM (警報) の感度は適切ですか？	適切な感度に調整して下さい。	P16
	警報回数が10回を超えていませんか？ ※	一度アンロック操作でセキュリティをアンセットして下さい。	取付説明書
空圧センサーが反応しない又は過剰に反応する (TP-200VAのみ)	メインユニットディップスイッチ3番がONになっていませんか？	メインユニットディップスイッチ3番をOFFにして下さい。	P15
	ドア及び窓が開いていませんか？	ドア及び窓を完全に閉めて下さい。	
ミュートが出来ない	ドアが開いていませんか？	ドアを開けて下さい。	
	ハザード入力線及びロック・アンロック入力線を接続していますか？	ハザード入力線及びロック・アンロック入力線を確認して下さい。	取付説明書
	メインユニットディップスイッチ2番がOFFになっていませんか？	メインユニットディップスイッチ2番をONにして下さい。	P15
	エンジンが作動中又はエンジンスタート作動中ではありませんか？	エンジン及びエンジンスタートを停止してからミュートを行って下さい。	
アンロックしてもセキュリティがアンセット出来ない	ハザード入力線は確実に接続されていますか？	ハザード入力線を確認して下さい。	取付説明書
	ロック・アンロック入力線は確実に接続されていますか？	ロック・アンロック入力線を確認して下さい。	取付説明書
	ロック・アンロック入力線を配線している場合、メインユニットディップスイッチ2番がOFFになっていませんか？	メインユニットディップスイッチ2番をONに設定して下さい。	P15
	ロック・アンロック入力線を配線している場合はアンロック後、10秒以上経過していませんか？	アンロック後、10秒以内にエンジンキーをONの位置まで回して下さい。 エンジン作動中又はエンジンスタート作動中の場合はアンロック後、10秒以内にドアを開けて下さい。	P10 P14
アンロック後、ドアを開けると一瞬だけ警報が鳴る	アンロック後、すぐにドアを開けていませんか？	セキュリティのアンセット音が吹鳴した後又は、アンロック時のハザード点滅後にドアを開けて下さい。	

※ 自動車盗難発生警報装置の新保安基準により1回のセットでの警報回数が定められています。(ドアスイッチセンサー、振動センサーの威嚇、感度調整モード時は除きます。)

－ トラブルシューティング4 －

修理を依頼される前に、下記の点検・確認をお願い致します。

症状	考えられる原因	処置方法	参照
強制解除が出来ない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか？	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか？	断線箇所を直して下さい。	
	強制解除の手順が間違っていますか？	正しい手順で強制解除を行って下さい。	P17
	エンジンが作動中ではありませんか？	エンジンを停止してから強制解除を行って下さい。	
感度調整モードにならない	強制解除スイッチのコネクタが抜けていませんか？	強制解除スイッチのコネクタを差し込み直して下さい。	取付説明書
	強制解除スイッチのハーネスが断線していませんか？	断線箇所を直して下さい。	
	感度調整の手順が間違っていますか？	正しい手順で感度調整を行って下さい。	P16
	メインユニットディップスイッチ1番がONになっていませんか？	メインユニットディップスイッチ1番をOFFに設定して下さい。	P15
	エンジンが作動中ではありませんか？	エンジンを停止してから感度調整を行って下さい。	
	セキュリティがセット状態ではありませんか？	セキュリティをアンセットしてから感度調整を行って下さい。	P9 P10
メインユニットディップスイッチの設定が反映されない	セキュリティがセット状態ではありませんか？	セキュリティをアンセットしてからメインユニットディップスイッチの設定変更を行って下さい。	P15

－ アフターサービス －

1.保証書

保証書は必ず「お買い上げ年月日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取って頂き、内容をよくお読みの上、大切に保管して下さい。

付属のアンケートハガキはお手数ですがご返送願います。

2.保証期間中の修理

保証期間中は内部機構を触らずに、お買い上げの販売店にご相談下さい。保証書の記載内容により、無償修理致します。

3.保証期間が切れている時は

保証期間が切れている時は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

4.修理依頼される時は

修理を依頼される時は、下記の事項を確認しお買い上げの販売店又は、弊社にご相談下さい。

- ①商品名、品番、シリアルNo
- ②故障の内容（どの様な症状なのか、いつ頃から等出来る限り具体的に詳しくお知らせ下さい。）
- ③お買い上げ年月日及び販売店名
- ④お客様のお名前、ご住所連絡先等

5.アフターサービスについてご不明な場合

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店又は、弊社にご相談下さい。

※故障・誤動作により本製品が使用できなかった事による付随的損害（代品貸し出し等も含む）の保証につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。

6.無償保証規定

①本製品は高度な品質管理を行っておりますが、保証期間中に取扱説明書等の注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、無償にて交換又は、修理させていただきますのでお買い上げの販売店又は、弊社まで保証書を添えてお申し出下さい。

※保証書の無い場合には保証対象外となりますのでご了承下さい。

②保証期間内であっても次の様な場合には有償になります。

- ・保証書の提示が無い場合又は、保証記載内容に不備のある場合。
- ・商品取扱上の誤り、不注意による故障及び、損傷。
- ・不当な修理及び改造による故障及び、損傷。
- ・事故による故障及び、損傷。
- ・自然災害による故障及び、損傷。
- ・消耗品の交換（付属部品等）
- ・保証書に、お買い上げ年月日、販売店名等の所定の記入事項の無い場合又は、文字を書き換えられた場合。
- ・故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。

③保証規定は日本国内において国産車取付時のみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

④ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店又は、弊社にお問い合わせ下さい。

－ 仕様 －

本体ユニット		サイレン	
電源電圧	DC+12V/24V・ボディーアース	音圧	MAX 120db/m
動作温度範囲	−40℃～+85℃	外形寸法(mm)	約H58×W58×D68（突起部含まず）
外形寸法(mm)	約H126×W75×D30（突起部含む）	質量	約144g（台座・ハーネス含む）
質量	約116g	標準LED	
保護等級	IP40	外形寸法(mm)	約H5×W5×D14
消費電流(待機時) (DC+12V車取付時)	約7.7mA（TP-200V） 約8.4mA（TP-200VA）	質量	約6g（ハーネス含む）
消費電流(警報時)	約500mA	強制解除スイッチ	
振動センサー		外形寸法(mm)	約H15×W22×D9
動作温度範囲	−40℃～+85℃	質量	約22g（ハーネス含む）
外形寸法(mm)	約H51×W36×D18（突起部含む）		
質量	約41g（ハーネス含む）		
消費電流(待機時)	約1mA		

修理・点検依頼書

製品の修理や点検等を依頼される場合、下記必要事項を記入の上製品と一緒に弊社までお送り下さい。記入漏れがあると修理に時間が掛かる場合がございますので必ず記入して下さい。

品番・製品名		シリアルNo.		購入日	年 月 日
メーカー・車種名		型式		年式	年 月
お客様のお名前		TEL		FAX	
お客様のご住所	〒				

不具合症状について詳しく記入して下さい。（代理店様の場合は店舗名・住所・電話番号・担当者名も記入して下さい。）
